

1. 基本情報

- (1) 国名：コンゴ民主共和国（以下、「コンゴ（民）」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：キンシャサ市モンアンバ地区
- (3) 案件名：キンシャサ市モンアンバ地区における電力アクセス改善計画（Projet d'amélioration de l'accès électrique dans le district du Mont Amba de la ville de Kinshasa）
- (4) 計画の要約：本計画は、キンシャサ市の経済開発地区であるモンアンバ地区において、既存のリミंगा変電所の改修及びマテテ駅構内に変圧・配電設備の新設を行うことにより、同地区の電力供給の安定化を図り、もって同地区の経済活動活性化と住民の生活環境改善を通じたコンゴ（民）の経済開発に寄与するもの。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

コンゴ（民）は、サブサハラ・アフリカ第1位の国土面積と第3位の人口、世界有数の豊富な天然資源（コバルト、ダイヤモンド、銅等）を有する地域大国であり、広大な熱帯雨林と豊富な水資源から林業・エネルギー産業の潜在力も高い。他方で、大規模なエネルギー源を有するにも関わらず全国平均電化率約20%と、サブサハラ・アフリカ地域平均（43%）と比較しても低く、経済・産業開発の観点からも電力セクター開発に対する政権の関心は極めて高い。本計画は、二国間関係において重要な位置付けを占めるものである。

また同国は国際場裡において従来から我が国を支持する友好国であり、更にはロシアによるウクライナ侵略に関連する国連決議3本に関して全て賛成票を投じているアフリカでは稀な国であり、現チセケディ政権の自由民主主義陣営に与したいとの強い立場が表れている。こうした同国との協力関係を維持・強化することは、我が国にとり有意義である。

- (2) 当該国における電力セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

コンゴ（民）は、長年の政情不安や過去の内戦等に起因する低開発を背景に、全国平均の電化率は約20%にとどまっており、サブサハラ・アフリカ地域（平均43%）と比べても極めて低い（2018年、世界銀行）。電化された地域でも計画停電が頻発しており、不安定な電力供給が社会・経済発展における阻害要因の一つとなっている。2021年は全国で3,986MWの電力需要が見込まれていたが、2020年の電力供給実績は1,413MWに留まっており、電力需要に供給が全く追いついていない。電力供給量の不足は、発電量が絶対的に不足しているだけでなく、変電及び送配電設備の容量不足及び発電設備の故障や不具合等の老朽化による供給制限（最大出力2,608MW）によることも大きく、同国の安定的な電力供給のためには発電容量の増強に加え、既存の変電及び送配電設備の増強・改修が喫緊の課題である。

キンシャサ市東部のモンアンバ地区は、キンシャサ市全体の13%に当たる約220万

人（2019年、JICA）が居住しているだけでなく、首都の経済開発地区として重要な商業拠点と位置付けられている。他方で、同地区への不安定な電力供給は、商業拠点の経済活動や、同地区にある20以上の入院施設がある病院での医療提供、給水施設の運転（年間222時間の断水（2021年））等、多方面に影響を及ぼしている。今後、2030年には同地域の人口は約250万人に増加することが見込まれており、これらの電力不足による社会インフラへの悪影響が一層深刻な課題となっている。

対コンゴ（民）国別開発協力方針（2017年9月）では、「経済開発」を重点分野に定め、経済インフラ整備に向けた我が国の質の高いインフラ投資を通じてコンゴ（民）政府の経済発展のための取り組みを支援するとしており、本計画はこれら方針に合致する。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容

【施設】モンアンバ地区リメテ内リミンガ変電所の建屋（改修）等

【機材】リミンガ変電所：220kV/30kV 変圧器、30/20kV 変圧器等。関連する 20kV 以下の配電網整備（配電用変圧器、電柱等）。

マテテ駅構内配電用変電設備：30/20kV 変圧器。関連する 20kV 以下の配電網の整備（配電用変圧器、電柱等）。

イ) コンサルティング・サービス／ソフトコンポーネントの内容：詳細設計、入札補助、施工・調達監理。ソフトコンポーネントの要否は協力準備調査にて確認する。

② 期待される開発効果

同国首都キンシャサ市の経済開発地区への安定的な電力供給網の能力強化整備を行うことにより、同地区の経済活動の活性化および同地区住民（人口約 250 万人、2030 年予測）の生活環境の改善への貢献が期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：コンゴ（民）電力公社（SNEL）

④ 他機関との連携・役割分担：アフリカ開発銀行の電源開発（発電量増）と本計画の変電・配電開発（供給安定化）は、同国の電力供給システム強化への貢献が期待される。また、同銀行はモンアンバ地区で未電化地域を対象とした中圧／低圧変電所建設を支援予定であり、本計画による高圧／中圧変電所改修及び中圧／低圧変電設備の新設により同地区の電力アクセス改善に向けた送電システムの上流から下流まで一気通貫での支援が実施されることになる。

⑤ 運営／維持管理体制：同国の配電は SNEL が運営を行っている。変電所への人員配置、管理体制等についての詳細は協力準備調査で確認する。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：B
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 他の援助機関の対応：アフリカ開発銀行は送配電施設の改修による変電・配電開発のほか、インガダム第 3 発電所開発に関する技術支援・人材開発支援による電源開発を実施している。また、世界銀行は都市周辺・村落地域における 220kV

(高圧)送電線網の整備及び都市部の変電所や配電網整備支援など変電・配電開発を実施している。

- 他のJICA事業との関係:本計画の実施後も引き続き不足する電力需給に対して、有償資金協力を通じた水力発電所整備等の電源開発支援を検討予定である。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

ルワンダ向け無償資金協力「変電及び配電網整備計画」(評価年度2017年)の事後評価において、一部工区をルワンダ側が自己資金で実施することになっていたが、ルワンダ側実施工区の着工時期について両者の情報共有が不十分であったことにより、事業計画の見直しや入札ロット分けが必要となり大幅な全体工期延長につながった。日頃から現地での定例会議等を通じて十分な情報共有を行い、先方負担分工事についても実施タイミングについて調整を行うことが重要であるとの教訓が得られているため、先方負担分工事を含む本計画においても、特に着工・完工タイミングについて情報共有を行う定例会議等を実施することを検討する。

以 上

[別添資料] 地図

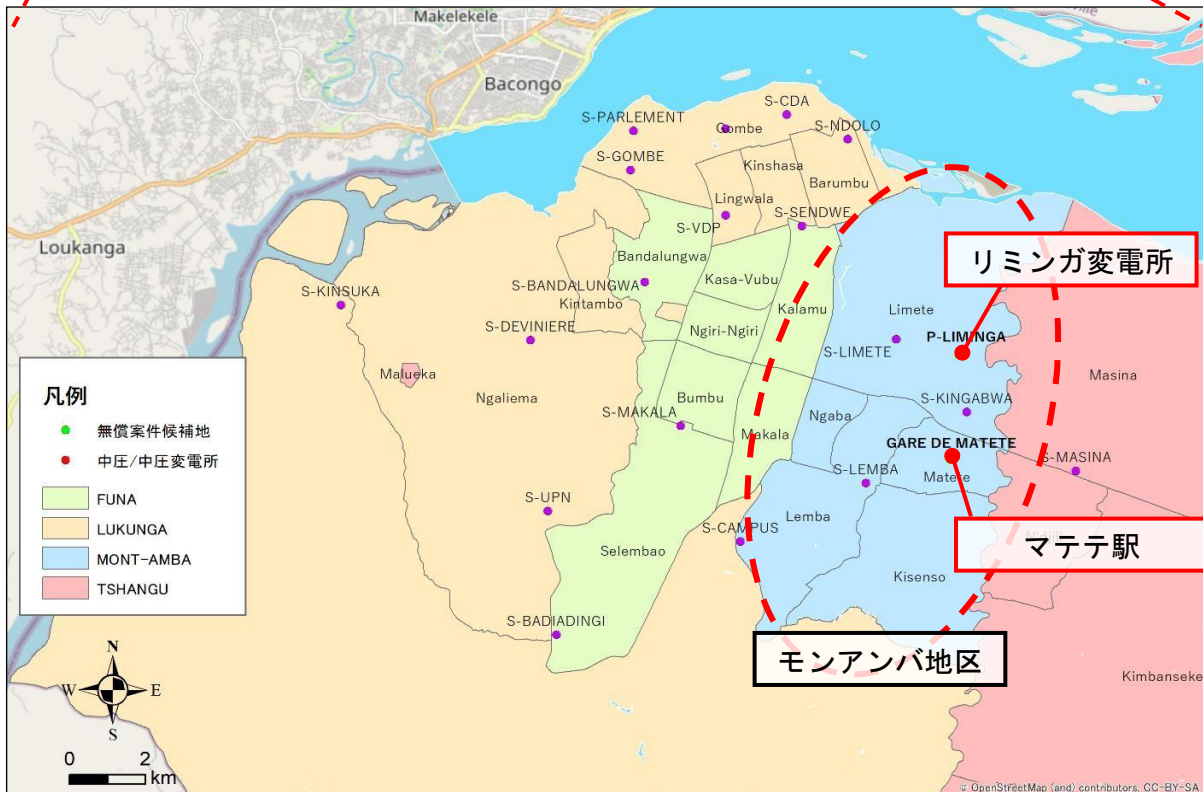
[別添資料] 写真

キンシャサ市モンアンバ地区における電力アクセス改善計画 地図 【コンゴ（民）全体地図】



出典：Nations Online Project

【キンシャサ市】



出典：コンゴ民主共和国電力セクターにかかる情報収集・確認調査 ファイナルレポート

キンシャサ市モンアンバ地区における電力アクセス改善計画 写真



写真1 リミンガ変電所の高/中圧変電器



写真2 リミンガ変電所の送電線

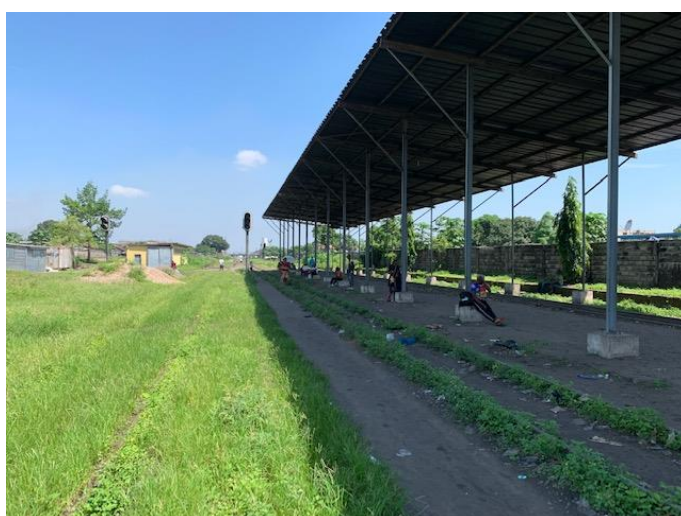


写真3 マテテ駅の様子